World Friendship Center
Hiroshimaをつ・た・え・る基礎講座

フィールドワーク

「被爆作家の碑をたずねて

—峠三吉、原民喜、大田洋子、栗原貞子」

2023年
4月22日(土)
小雨決行
雨天予備日 4月29日(土)
定員 先着20名
10:00-12:00
(集合9:45)

１９４５年８月６日午前８時１５分。
峠三吉は翠町で被爆、当時28歳。
原民喜は幟町で被爆、当時39歳。
大田洋子は白島九軒町で被爆、当時38歳。
栗原貞子は祇園町長束で被爆、当時32歳。

既に大人であった彼らにとって、その光景は、目にも心にも焼き付いたに違いない。
原爆におうて尚、筆舌に尽くしがたいその出来事を書き残そうとした作家たちの声に、心から耳を澄ます。
後世に生きる私たちに残してくれたその“言霊”は、今の世界に何を思い、何を訴えるのか。
「ちちをかえせ　ははをかえせ　としよりをかえせ　こどもをかえせ・・・」
この叫びが、今も聞こえてくるこの世の中で・・・。

２月に引き続き講師に、広島文学資料保全の会 土屋時子 (つちや ときこ) さんと、河口悠介 (かわぐち ゆうすけ) さんをお迎えし、文学碑をめぐります。碑や作家の説明を頂きながら、それぞれの文学碑の前で、土屋時子さんに一遍の詩を読んで頂きます。

【当日のルート予定】
峠三吉詩碑 → 原民喜詩碑 → 大田洋子文学碑(予定地) → 栗原貞子詩碑 (合計約3.2km)

お申し込み

集合場所：広島平和記念資料館北側 (集合9:45)
参加費： 1,100円 (保険100円を含みます)
お申し込みフォーム: https://bit.ly/3rKqhFH

〒773-0032 広島市西区東観音町 8-10 / 082-503-3191 / Email: office@wfchiroshima.org

講師プロフィール

土屋 時子（つちや・ときこ）「広島文学資料保全の会」代表

1971年～2009年迄、広島女学院大学図書館司書として働きながら、演劇活動や市民運動の活動を続けている。

図書館内の『栗原貞子記念平和文庫』設立に関わり、原爆文学資料のユネスコ『世界の記憶』登録目指し3度目の挑戦をする。

河口 悠介（かわぐち・ゆうすけ）「広島文学資料保全の会」事務局次長

1996年9月20日生まれ。佐賀県有田町出身。
2019年3月、エリザベト音楽大学コントラバス専攻卒業。
母校の創立は原爆投下が深く関係しており、「音楽で平和を伝えることが自分の使命だ」と感じるようになり、平和活動を行っている。
現在、「ヒロシマ・ピース・オーケストラ」コントラバス奏者、「カクワカ広島」、NPO法人PCV Peace Buddy メンバー、「Hihukushoラジオ」制作スタッフ。

お申し込み方法

こちらのリンク/ QRコードから
申し込みフォームにアクセスし
お申し込みください

https://bit.ly/3rKqhFH

お支払い方法

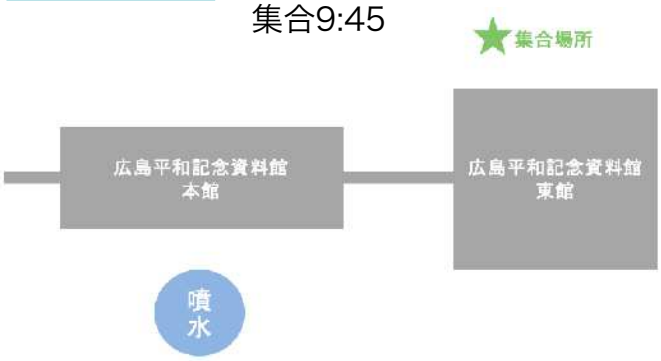
当日現金払い・クレジットカード決算で
お支払いいただけます

クレジットカードでお支払いの方は
こちらのリンク/ QRコードから
お支払いいただけます

https://bit.ly/3mxNxVA

集合場所

広島平和記念資料館北側
集合9:45



お知らせとお願い

- 体調がすぐれない方はご参加をお控え願います。
- 止むを得ず中止させていただく可能性もあります。
  ご理解のほどよろしくお願いいたします。

主催：NPO法人ワールド・フレンドシップ・センター
〒773-0032 広島市西区東観音町 8-10 / TEL: 082-503-3191 / Email: office@wfchiroshima.org